

横濱ドラゴンボートレース 2022 大会 事前説明資料

資料① 大会概要と注意事項

- 開催名称 「横濱ドラゴンボートレース 2022 大会」
(英文)YOKOHAMA DRAGON BOAT RACE 2022
- 開催場所 山下公園前面海上(横浜市中区)

■ レース名称およびチーム受付時間

※下記の受付時間内に、必ずチーム受付をしてください。(チーム受付をしないとレースへは参加できません)

※Part I と Part II で受付時間が異なりますのでご注意ください。

※参加賞をお渡ししますので、チーム代表者と他 1 名でお越しください。

日付	レース名称・カテゴリー	チーム受付時間	
6月4日(土)	横浜市長杯	Part I	8:00~8:15
		Part II	12:00~12:15
6月5日(日)	コカ・コーラ ボトラーズジャパンカップ ^o	8:00~8:15	
	香港カップ ^o	12:00~12:15	

■ 感染防止対策として下記の事項を遵守してください。

- ① レース参加者全員は、出場日当日の朝自宅で検温をしてメモ等して会場に持参してください。検温結果を当日会場で配布する「体調管理シート」に記入していただけます。「体調管理シート」は、乗船前に回収させていただきます。
感染の可能性がある場合は、大会への参加をお断りする場合があります。
- ② レース参加者以下も下記の事項に該当する場合は、応援等を見合わせてください。
 - ・ 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- ④ ドラゴンボート乗船中以外はマスクを着用してください。レース中のマスク着用は任意といたします。
- ⑤ 乗船中以外は、他の参加者、スタッフ等との距離(できるだけ 2m 以上)を確保 (障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)してください。
- ⑥ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないでください。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。
- ⑧ 大会の前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けてください。
- ⑨ 大会参加者が、大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。
- ⑩ 大会参加者は、感染防止に十分留意してください。

■お願いおよび注意事項

※事故のない楽しい大会にするために、是非ともご協力をお願いいたします。

1. チーム代表者はチーム全員にルール説明を必ず行ってください。
2. 駐車場は用意しておりませんので、電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
3. 受付ではチーム代表者の（当日、会場内で呼び出しができる）携帯電話番号とチームの待機場所をお聞きます。レースの進行状況に伴い、急な電話連絡および招集があった場合には、速やかな対応をお願いいたします。
4. チーム代表者はチーム内を取り纏め、招集や乗船等、運営スタッフの指示に従い、円滑なるレース進行にご協力ください。
5. 男女別の更衣室（テント）は会場内にご用意してあります。
6. 飲酒をした方は乗船（レース参加）できません。
7. 選手集合場所と乗船口へはケガ防止のため、靴を履いてお越しください。
※ボートへの乗船は、裸足またはゴム底のマリンシューズのみ可能です。
※ビーチサンダルでの乗船はできません。マリンシューズをご準備いただくようお願いいたします。
8. 乗船時のタイムロスを防ぐ為、あらかじめ配席を決めておいてください。
※ボートの構造上、転覆の恐れがあります。左右均等にご乗船ください。
※ボートの縁（ヘリ）に手をつくると、桟橋や他のボートとの間に指を挟み、思わぬケガをする可能性がありますので、ボートの縁（ヘリ）には決して手をつかないようにしてください。
9. 乗船後はパドル等の備品を確認し、足りない場合はスタッフに申し補充してください。揃ったら速やかにスタートエリアまで航行してください。
10. ボート中央部に水抜きのための穴があり、栓をしております。栓を外す事は絶対にしないでください。また、乗船時に栓が確実に装着されているかをご確認ください。
11. スタートエリアへ向かう際やゴールした後は、ボート内の水をかき出しながら航行してください。
12. ボートを停止する際はパドルを進行方向と逆に漕ぎ、短距離で停止できる様、操船してください。
13. レース中、ボートへの浸水があります。沈没を防ぐと同時に、船速を上げる為にも浸水した水をかき出してください。ボートの中央部に水が溜まりやすいので、中央部の乗船者が水をかき出す役割をしてください。
14. レース中、パドル等の備品が海中に落下した場合、そのままレースを続行し、下船時にスタッフに申告してください。
15. 使用したパドルは、下船後、速やかに桟橋の運営スタッフに渡してください。
16. レース終了後、チームから代表者2名を選出いただき、下船後の船に溜まった水のかき出しおよび次のチームの乗船補助にご協力ください。
17. レース終了後は必ず結果を確認してください。
※決勝レースへの進出が決定したチームは、スタート時間を確認し、スタート時間の20分前までにチームメンバー全員で集合場所へお越しください。
※集合時間に不在の場合は、その回のレースは失格といたしますのでご注意ください。
18. チームメンバーおよび関係者は、レース待機中やレース観戦中に一般のお客様の迷惑にならないよう、十分注意してください。
19. 昼食は各自でご用意ください。なお、会場内には飲食ブースの出店もございます。飲料や簡単な食事を販売いたしますのでご利用ください。
20. ゴミの分別収集にご協力ください。受付の際、ゴミ袋を3枚お渡しします。
下記の3種類に分別し、発生したゴミは指定の集積場所へお捨ててください。
 - ①ビン/缶/ペットボトル
 - ②燃えるゴミ（段ボールを含む一般ごみ）
 - ③プラスチック製容器、包装ゴミ（レジ袋、空のお弁当容器ほか）
21. 例年、山下公園内での置き引きが発生しています。

※貴重品はチーム内観戦者か、集合場所に設置したコインロッカー※へ預けてください。

※コインロッカーの数には限りがあります

※受付および乗船口で荷物等のお預かりは行っておりません。

22. 園内の樹木等に、シートや旗などを縛り付けるなどの行為は禁止されております。
23. 公園内には「芝生養生エリア」があります。養生エリア内へは立ち入らないようお願いいたします。
24. 近隣居住者への配慮として、太鼓およびラッパ等の機材を使用した応援は禁止です。

タトゥ(TATTOO)は衣服等を着用し、露出しないようにして下さい。

■ 来年度のエントリーに関して

次回 2023 年の大会概要が決まり次第、ホームページにアップします。(2023 年 2 月頃を予定)

横濱ドラゴンボートレース 2022 大会事前説明資料

資料② 横浜ドラゴンボートレース 2022 大会ルール

2022 年 5 月改定

1 2022 感染防止策

- ① 参加当日の朝体温測定
- ② 「体調管理シート」の提出
受付時に「体調管理シート」を代表者へお渡ししますので、乗船前に全員分の記入済み「体調管理シート」を提出して頂きます。「体調管理シート」に当日の朝の体温を記入する欄がありますので、参加者全員当日の朝検温をして結果を持参してください。
- ③ マスクについて
 1. 受付時に主催者よりマスクをお渡しします（申告必要数）
 2. 配布されたマスクを着用し、乗船前の説明に参加してください
 3. 乗船直前に、着用されたマスクをゴミ箱へ廃棄ください
 4. 下船後に、改めてマスクを配布しますので着用ください
※予選 1 回目・2 回目同様です。
- ④ レース中に、唾や痰をはくことは極力行わないでください。
- ⑤ タオルの共用はしないでください。

2 大会全般

- ① ここに記してあるルールおよび要項にそぐわない者は参加資格を与えない。
- ② 選手は大会役員および運営スタッフの指示に従い行動をすること。
- ③ チーム代表者は開催中、受付からの連絡が取れる体制をとること。また、表彰式においてチーム代表を勤める。
- ④ 大会役員は不適切と思われる選手の競技参加を拒否する権限を有する。
- ⑤ 危険回避の為、指定された航路のみ航行すること。
- ⑥ レース中およびそれに準ずる時、故意に海中に飛び込むなどの危険な行為が行われた場合、そのチームは失格とし、翌年度以降の参加はできない。
- ⑦ 天候不順によりレースを中止する場合があります。
- ⑧ 天候不順、その他の理由において練習会やレースが中止になった場合でも、練習会費およびレース参加費は返金いたしません。
- ⑨ 主催者が加入している保険『行事参加者のレクリエーション保険』の補償は、死亡・後遺障害時のみ一人当たり 200 万円である。
- ⑩ 参加チームは、メンバー全員がこのルールを把握し理解したものとみなします。ご不明な点などございましたらレース前までに受付へお問い合わせください。レース後のクレームは一切受け付けません。
- ⑪ 大会期間中の映像・写真・記事・記録等の肖像権は主催者に属します。

3 安全

- ① 全ての選手にライフジャケットの着用を義務付ける。
- ② 選手は各自安全確保に努め、自己管理する。万一、練習およびレースにおいて選手同士あるいはチーム内でケガ、事故などが発生した場合、その責任を主催者は一切負わない。
- ③ 大会参加は自己責任とする。チーム代表者は各選手の健康とケガ防止に留意すること。
- ④ 健康面に不安のある方の乗船はできません。特に、心臓病や運動中に胸の痛み、気を失ったことのある選手およびペースメーカーを着用している選手の参加は認めない。
- ⑤ 飲酒をした者の乗船は認めない。主催者は乗船を拒否する権限を有する。

- ⑥ 上記④⑤により人数不足(最低 10 名)になった場合は、失格とする。

4 競技者の構成

- ① チームは漕ぎ手 18 名、太鼓による伴奏者 1 名、操舵者 1 名の合計 20 名(最低 10 名)で構成され、これに反するチームは失格とする。※主催者から操舵者の貸出は行いません。
- ② 選手の総重量は 1,500kg 以内であること。あきらかに超えていると判断した場合、乗船時に主催者が人数を調整する。
- ③ 選手は小学生以上で、身長 120cm 以上、かつ泳げる者とする。

5 集合、乗船準備

- ① 選手は主催者が指定した時間（レース開始 30 分前）と場所に集合し、準備すること。
- ② 運営スタッフの指示に従い、順次、速やかに乗船すること。
- ③ 競技用ボートは主催者が用意したもののみを使用し、貸与するボートを指定、選定はできない。
- ④ パドル本数は原則として漕ぎ手の人数分とし、予備が必要な場合はスタッフに申告し、1 本まで認めることとする。ただし、持込パドルの予備本数には適応しない。
- ⑤ 乗船後は速やかにスタートエリアへ移動し、ボート表示と同じ番号のレーンにてスタート合図を待つこと。

6 スタート

- ① スタートエリアにおいては全艇が公平なスタート位置に揃うまで待機し、運営スタッフの指示にてスタート位置を調整する。公正を欠くと判断されたチームは失格とする。
- ② スタートラインは陸上側の基準ポールと対岸の基準点との延長線上に設定する。スタートブイはレーン分けとスタート地点の目安であり、スタートラインとは必ずしも合致しない。
- ③ 運営スタッフの「レディー（ready）」の合図で選手全員がパドルを頭上に上げ静止。その後、「ゴー（go）」（&ホーン）の合図によりスタートとなる。
- ④ フライングが発生した場合は、スタート直後に合図を発する。選手はレースを中止し、速やかにスタートエリアに艇を戻すこと。
- ⑤ フライングを 2 回犯したチームはその時点で失格とする。またフライングを犯したチームがスタートエリアに戻る際、転覆、沈没した場合、その時点で失格とする。

7 レース管理

- ① スタート後、5 分以内でゴールできないチームおよびコースを大きく逸脱した場合は、大会役員の判断により途中失格とする。失格になった際は運営スタッフの指示に従い、他のチームの妨げにならないよう速やかに指定された航路を航行し乗船時の栈橋に戻ることに。
- ② コースレーンを逸脱しないよう操船に努めること。
- ③ 他チームを妨害、接触をした場合、大会役員の判断により失格とし、抗議は受け付けない。
- ④ ボートが破損した場合、主催者は破損させた競技者に修理費用を請求する事ができる。故意にボートを破損させた競技者には修理費用全額の請求を行う。
- ⑤ 他チームの違反（コース斜行、接触等）により成績に影響しても、再レースは行わない。

8 ゴール

- ① 2 個のゴールブイの間を必ず通過すること。ゴールブイはゴール地点の目安であり、必ずゴールラインとは合致しない。
- ② ゴールラインは陸上側の基準ポールと対岸の基準点との延長線上とし、ボートの最先端がゴールラインを通過した時点でゴールとする。
- ③ ゴール後は速やかに指定された航路を航行し、乗船時の栈橋に戻ることに。

9 判定

- ① 選手は大会役員の下した判定に従い、いかなる事情においても抗議する権利は持たない。

10 装備

- ① 競技用ボートおよび航行に必要な備品は主催者より貸与する。
- ② ライフジャケットは国土交通省基準(型式承認)のもの、パドルは競技規格 (JDBA もしくは IDBF 公認済パドル) に準ずるものであれば持込使用を許可する。自作パドルの使用は不可とする。
- ③ 備品の不足、破損は乗船時に各自チェックし、不備の無い事を確認すること。
- ④ 水没の恐れがあるため、競技に必要なもの以外の持込は認めない。万一、持込んだ場合、紛失、破損しても主催者は一切の責任を負わないものとする。

11 レース方式

- ① 各チーム、予選レースを 2 レース行い、ベストタイムを選択、上位 3 チームで決勝レースを行う。
- ② 予選上位チームが同タイムの場合、予選 2 レースの合計タイムで選定する。
- ③ カテゴリーごと、それぞれで予選レースと決勝レースを行う。
- ④ 天候不順、その他の理由などレースコンディションによっては、予選レースを 1 レースのみとし、乗船できる選手の人数を制限する場合がある。
- ⑤ 天候不順、その他の理由により決勝レースが中止になった場合、予選レースのベストタイムで最終順位を決定する。

以上